

2022年5月10日
一般社団法人 新金属協会
化合物半導体部会
部会長 鈴木 健彦
DOWA エレクトロニクス株式会社
化合物半導体部 部長

2021年度通期の化合物半導体の出荷統計について

2021年度通期（2021年4月～2022年3月）の化合物半導体材料の出荷統計がまとまりましたので別紙の通り発表いたします。

2021年度通期（2021年4月～2022年3月）の化合物半導体製品の出荷額は、309億円となりました。結晶別では、GaAs、GaP、InPが増加し、その他が微減致しました。用途別では可視LED、赤外LED、LD、その他の全てが増加致しました。

1.GaAs

2021年度通期のGaAsの売上高は、183億円となり、国内、海外ともに増加しました。GaAsの主な用途市場はスマートフォン等に使用される高周波デバイス、また各種の表示機器やセンサ等に使用される可視・赤外LED、および光ディスク・加工機・センサ等に使用されるレーザダイオード（LD）等がありますが、2021年度はスマートフォン向け関連デバイスが伸びたためと推察しています。

2.GaP

2021年度通期のGaPの売上高は、18.4億円となり、国内、海外ともに増加しました。AlGaInP等の高輝度材料への転換によるGaP可視LED市場の縮小傾向は継続していますが、ここ1,2年で落ち込んだ需要が、GaP-LED使用機器の回復で増加傾向に転じたと推察しています。

3.InP

2021年度通期のInPの売上高は、89億円となり、国内、海外ともに増加しました。InPの主な用途は光通信用受発光素子ですが、2021年度は昨年度に引き続き所要が堅調に推移した結果と推察しています。

<お問い合わせ先>

化合物半導体部

池田 浩也

電話-03-6847-1253 Fax 03-6847-1260

e-mail : ikedah2@dowa.co.jp